部活動の地域移行は 通塾回数確保のチャンスとなるか

塾に訪問した際、先生方から部活動について、「中学3年生の引退までは部活動優先になり、 通塾回数が増やしづらい」というご相談を受けることがあります。部活動に力を入れている中 学校であれば、なおさら通塾の回数は確保しづらいと思います。そんな時、下記の様な情報を 目にしました。

部活動の地域移行とは・・・

これまで公立の中学校・高校で教員が実質的に無償で担ってきた部活動を、 地域のスポーツクラブなどに移行すること。まず 2023 年度から、 公立中学校の休日の部活動を段階的に地域移行していくこととなる。

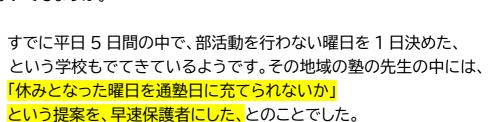
具体的には、

○週あたり2日以上の休養日の設定(平日1日、週末1日) ○部活動に強制的に加入させられることがないようにする などといったことが実施されるとのことです。 背景には、教員の働き方改革が大きく影響していますが、

部活動の地域移行は通塾回数の確保が見込める

<mark>チャンス</mark>ともなるのではないでしょうか。





もちろん、中学校や地域によって差もあることと思います。まずは地域の中学校の状況を確認されてみることから始めてみてはいかがでしょうか。



「営業マンNEWS」は、塾様にいろいろな情報を発信します。